

ぺんぎん組 (1歳児)

令和4年7月
子生和保育園

～楽しそう！使いたいな…～

Aちゃんの使う玩具が気に入り、Bくんが横から触っています。Aちゃんは使っていて、渡したくないようです。

【自分の思いを伝えられるように】
☆子どもの仕草や発した声を保育士が想像して代弁し、感情を言葉につなげています。



A : まだ使ってる！

B : 気になる…

①気持ちの共感

「まだ遊びたい？」

「その玩具が使いたいの？」

②伝え方・方法を知らせる

「待ってもらおう？一緒に遊ぶ？」

「貸してって言うんだよ」(仕草も添えて)

③子どもが出した答えを認める

○貸してもらえた
「貸してもらえて
嬉しいね」

○貸してもらえなかった
「使ってるから
待ってようね」

○一緒に遊ぶ
「二人で遊ぶと楽しいね」



”楽しい”瞬間を共にした時、自分以外の存在に気付き、徐々に子ども同士が関わりを持ちます。物や場所の取り合いは毎日起こりますが、大人はそれぞれの気持ちを受け止めながら、子どもが自分自身と相手の気持ちに気付ける日まで、ていねいに根気よく関わり方を伝えていきます。